

令和4年度地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講

札幌国際大学	①	i. 連携している地元産業界等の組織名称	北海道瀬棚郡今金町
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	スポーツ人間学部スポーツビジネス学科、スポーツ指導学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	<p>本学では、中期目標の達成に向けて中期計画に即した取組を行っている。中でも、カリキュラムの改定及びリーダー育成は、重要な課題の一つである。令和4(2022)年度にスタートした新カリキュラムは、従前のカリキュラムの特徴である理論と実践の往還サイクルをより発展させ、実際の地域フィールドにおいてリーダーとしてのスキルの伸長を図るアクティブラーニングによる実践的な科目を配置した。</p> <p>一方、本学と地域連携協定を平成24(2012)年度に締結した今金町は、農業が盛んで日本一の「今金男爵」など多くの農産物をはじめ、美しい自然環境、歴史的史跡も数多く残されており、地域資源に恵まれた自治体である。しかし、少子高齢化や人口減少をはじめ、地域資源の有効活用など、地域課題が山積している状況にある。</p> <p>そこで、地域連携協定のもと、本学と多彩な連携事業を展開してきた実績のある今金町をフィールドとして、地域課題の解決のために、情報収集、課題設定、企画立案、実施、評価のPDCAの一連の過程を通して、地域課題の解決に焦点を当てたリーダー育成モデルプログラムを検討するとともに、新カリキュラムの効果や課題等についての資料等を得ることを目的とする。</p>
		iv. 当該授業等の具体的な内容	<p>今金町の山積する地域課題の中でも、学科の学びを活かした実践的PBLとするために、健康・運動をキーワードとする。学生が主体となって町民対象の健康運動事業を企画・実施するため、およそ以下の手順で取り組みを進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①町民の健康・運動に関する意識やニーズを把握する。 現地調査及び町職員等からのヒアリングにより情報収集を行う。</li> <li>②対象別に健康運動事業プログラムを企画・実施する。 シニア対象事業として、ノルディックウォーキングを中心とした健康教室を検討する。 ジュニア対象事業として、「いまかねスマイルダンス」中心とした健康教室を検討する。</li> <li>③分析等を踏まえ、評価と改善を行う。</li> </ol>
札幌国際大学	②	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	観光学部観光ビジネス学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	<p>『基礎ゼミⅠ』は2年生以降本格的に行うゼミナール活動の予行演習の位置づけとして、主に大学が立地する徒歩圏をフィールドに「見る、知る、体験する」活動を通して地域を知り、その中から観光資源の発掘やホスピタリティの精神の涵養といった、観光学部に必要な基礎的な素養を養うことを目的としている。</p> <p>このような目的を掲げることになった背景には、地元を知る→北海道を知る→アジアを知る→世界を知るという、「国際化」という言葉に踊らされない、自身をの足場をしっかりともった国際的な観光産業人の育成という目標がある。これは、本学の建学の礎の一つでもある、「自立」に大きく大きく関わっており、「国際化」＝「外国、外国語」と短絡的に考えるのではなく、まず地元を知ること、そして、地元を知るための手法を知る事から学び、それを大きく世界に広げていくことが本学の目指す教育であるという意味でもある。</p> <p>今年度の『基礎ゼミⅠ』は「地元から世界へ」を合い言葉に、担当教員も国際色豊かであり、学生も多国籍の中で行われている。</p>
		iv. 当該授業等の具体的な内容	<p>大学生に成り立ての大学1年生でも取り組みやすい工夫を凝らした授業を展開した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①大学から徒歩圏のスイーツ店を取材し、いわゆる食レポをする。</li> <li>②大学から少し離れたスイーツ店を取材し、①と同様に食レポをする。</li> <li>③地元清田区のふるさと遺産として指定されている自然や建造物まで足を運び、実際に学生の目で体験する。</li> <li>④①で食レポした徒歩圏のスイーツを実際に自分たちでプロデュースし、大学祭で販売する。(利益は出さない)</li> <li>⑤②と⑤を織り交ぜた「清田ちょこっとツアー」を学生が企画し、7月のオープンキャンパスの参加者に参加してもらい、自分たちの学修成果を知ってもらった。(学生は全員添乗員資格を取得済み)その上で、ツアーの感想や意見を取りまとめ、ゼミナール活動で重要な、「自ら考え、自ら行動し、自ら評価する」というPDCAサイクルを、分かりやすい活動を通して学び、秋学期には学内で「防災と音楽」のフェスを企画するところまで繋げていく。</li> </ol>

札幌国際大学短期大学部	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
	ii. 当該授業等を実施する学部・学科	短期大学部 総合生活キャリア学科
	iii. 当該授業等を開講する目的	<p>①ボランティア 人のために空いた自分の時間や使えるスキル、能力を自主的に行う活動をさせ、自分が住む(通う)身近な地域で生涯にわたりボランティア活動が続けるためのヒントをつかむ。清田区と関係する部分としては、活動を通して気づいた地域の課題や、地域の現状を知り考えることが目的となる。</p> <p>②課題解決演習Ⅰ、Ⅱ 興味関心のあるテーマのもと、身近に課題を探し、団体や企業と協力して、プロジェクト活動を行うことで、課題の解決につなげ、仕事のプロセスを実習を通して実感し、協働について身をもって学ぶ。清田区は、食関連の資源が豊富であることに注目し、職について学び、食を通して社会貢献することについて学ぶプロジェクトを置いている。</p>
	iv. 当該授業等の具体的な内容	<p>①ボランティア ボランティアやチャリティの意味について学び、今自分が関心を持つこと、今の自分の生活の中でできることのできるだけ多く挑戦する1年を過ごす中で、定期的に意見交換を行い、社会の抱える問題の解決方法について考える。清田区との関わりとしては、区で募集するボランティアに積極的に参加し、気づいたことをフィードバックする。また、昨年も行った、きよたスイーツの応援活動についても検討予定。</p> <p>②課題解決演習Ⅰ、Ⅱ 予備調査、学習、研究を行い、アイデアを具体化するために実働的な活動を行い、振り返りというPDCAサイクルを1年間にわたって回しながら、描いたビジョンを実現するため設定したゴールを一つずつ達成する演習形式の授業。5から10人で構成されるチームに分かれて、活動する。区とのかかわりとしては、食育チームが、区の中から、食に関係するテーマで活動協力をお願いできる先を探し、活動を進めている</p>